



いちご営農情報（台風対策）

R5年8月2日 JA はが野・芳賀農業振興事務所

台風6、7号の発生に伴い、はが野管内において、大雨や強風等の影響が予測されます。通過後の対策をしっかりと行い、草勢の回復に努めましょう。

○台風により浸水等の影響を受けた場合の管理

・ほ場の排水対策、ベットの修復

⇒降雨により浸水・冠水したほ場では、小型ポンプによる強制排水を行う等、速やかに排水を行う。

⇒浸水等によりベットが崩れたほ場では、土壌がある程度乾いてから崩れたベットの修復を行う

○育苗圃場

⇒強風により苗がもまれた場合、草勢回復対策として葉面散布（メリット青、葉友等窒素成分の入っている剤）を行う（草勢回復）。

⇒浸水等があった場合速やかに排水する。万一育苗トレーや、ベンチが浸水してしまった場合速やかに排水を行い、下記の薬剤を一例として殺菌剤の散布を行う。

○炭疽病対策

⇒浸水等により苗に土が付着した場合、土を洗い流すように薬剤散布を行いましょう。

効果	病害名	農薬名	使用時期	使用回数	使用倍率
予・治	炭疽病 うどんこ病	サンリット水和剤	1日	3回	うどんこ病 2000~4000倍 炭疽病 2000倍
予・治	炭疽病	ゲッター水和剤	21日	3回	1000倍
予	炭疽病	トレノックスフロアブル	育苗期	5回	500倍
予	炭疽病 灰色かび病	セイビアーフロアブル 20	1日	3回	灰色かび病 1000~1500倍 炭疽病 1000倍

◆農薬を使用する前にはラベル栽培日誌を確認し、回数超過の無いよう、使用基準を遵守しましょう。

◆上記農薬以外についても在庫状況をご確認いただき、在庫があるようでしたらそちらをお使いください。

★天敵影響日数については日誌等をご確認下さい。